

平尾温泉 みはらしの湯

Hirao Onsen Miharashinoyu
(長野県佐久市)



今回紹介する温泉は、佐久平ハイウェイオアシスに併設された日帰り入浴施設である。上り線、下り線のどちらからでもアクセスでき、しかも下の道からも高速道路に入ることなくアクセスできるようになっている。

佐久平ハイウェイオアシスと言えば、スキー場が併設され、カブトムシドームがある場所として有名だ。しかし、開業1年を経過したみはらしの湯は、新たな名所になりつつあるようだ。何しろ、あの地形である。その名の通り、相当見晴らしが良いのである。

取材班がみはらしの湯に到着したときは日が暮れかかった頃だった。入口のクリスマスイルミネーションが美しく輝いている。中に入ると下駄箱があり、その奥にフロント、食事処がある。フロントで下駄箱の鍵を渡すと、バーコード入りのロッカーの鍵を渡される。会計はこの鍵で行うため、後払いだ。鍵をなくさないようにしよう。1階にはトレーニングルーム、岩盤浴もある(別料金)。

温泉は2階である。2階に上がると休憩スペース、自動販売機、マッサージ椅子(3基)がある。脱衣室には洗面台が1個、冷水器、水素水の販売機(1杯100円)がある。ロッカーの個数は200個以上。すさまじいキャパシティーだ。

浴室は前室を経由して右手に洗い場、正面に大風呂、左手にその他の浴槽、サウナ、露天風呂への出口、シャワーブース(2ヶ所)、上がり湯がある。洗い場は24ヶ所。椿さくらというブランドのリンスインプールとボディソープがある。椿オイルとさくらエキスがお肌に特別な効果をもたらしてくれる。その他に珍しいものとして、髭剃り後に使用するとお肌に良いと唄われているクレンザーが置いて

ある。

大風呂は20人以上は入れると思われる巨大な浴槽だ。その横にある炭酸泉も同じくらいの規模である。さらに、週替わり薬湯は10人程度の定員。本日はシャンパンクリスマスというロゼワインのような色の薬湯が用意されていた。浴槽の湯温は、露天風呂を含めてすべてややぬるめだ。

サウナは定員25人程度の巨大なドライサウナだ。室内温度は96℃。サウナの出入口付近にある水風呂も6人はゆうには入れる大きさである。何もかもが巨大サイズである。

露天風呂は大きな円形の岩風呂が2個。それぞれ10人程度の定員だ。小屋組みのある露天風呂からは眺望があまり良くないが、もう一つの小屋組みのない露天風呂からは眼下に佐久市の夜景が見える。昼間なら、八ヶ岳が見えるのかもしれない。みはらしの湯と名をつけるだけのことはある。その他に1人用の壺風呂も3個ある。

ちなみに、みはらしの湯はナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉（高張性・中性・低温泉）で、筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、ねん挫などの慢性期）、運動麻痺による筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進に効果があるという。

たまにはサービスエリアで温泉に入って長時間の休憩をするのもいい。スキー帰りにいかがだろうか。

DATA

名称	平尾温泉 みはらしの湯
所在地	長野県佐久市下平尾 2682
電話	0267-68-0261
営業時間	10:00~22:00（最終受付 21:30）
定休日	不定休
入浴料	大人 800 円、小人（小学生）400 円、未就学児 100 円、3 歳以下無料
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	あり
取材日	2017 年 12 月 23 日（土）
取材	銭湯愛好会東京支部